

NCC大会確認事項

- ① 判定の基準は、一本（反則勝ち）＞技あり＞僅差（指導差2）により勝敗を決定する。
- ② 試合時間は、小学生・中学生共に3分間とする。
- ③ 「逆背負投」（通称）のような技は、安全性を考慮し禁止とする。技を施した場合は、審判員協議の上反則負けとする。
- ④ 代表戦の場合は、引き分けの選手から抽選で1組を選び、試合時間3分間に必ず勝敗（旗判定）を決定する。抽選方法は「じゃんけん」で勝った方の監督が行う。ただし同点の場合（両チーム4名×4名の対戦の時）は、任意選手による代表戦を行う。
- ⑤ 試合場は、赤畳までを場内とし、場外の罰則については、規定通りとする。ただし「抑え込み」の際、畳以外に触れたら「そのまま」とし試合場内に移動し継続して行う。それから、隣の試合場と重なる場合は、後に抑え込みに入った方を移動することとする。
- ⑥ 「指導」の表示は、罰則を与えられた方に表示し、勝敗決定の時に確認する。
- ⑦ 罰則は、ダイナミック柔道の意味を充分理解し、思い切った判断を行い、迷ったら長くならない程度の合議をする。
- ⑧ 選手・監督・応援の審判に対するアピール、クレームについては、遠慮せずルールに従って対応を実施すること。
- ⑨ テレビ撮影の都合上、先ず、小学生の部の2回戦までを全ての試合場を使用して行い、ベスト8から決勝戦まで第1試合場で行う。中学生の試合は、小学生の試合が終了次第、第2～第4試合場を使用して順次試合を実施する。

（会場責任者・監督の方は試合順をよく確認して試合進行をして下さい）

※ 長崎市内のチームは、試合終了後、会場撤去作業のお手伝いを宜しくお願い申し上げます